清里フォトアートミュージアム収蔵作品展

原点を、永遠に。

—2018—

アル・ラプコフスキー（ラトビア 1981）
《もっとレゴがほしい》2016年
©Al Lapkovsky

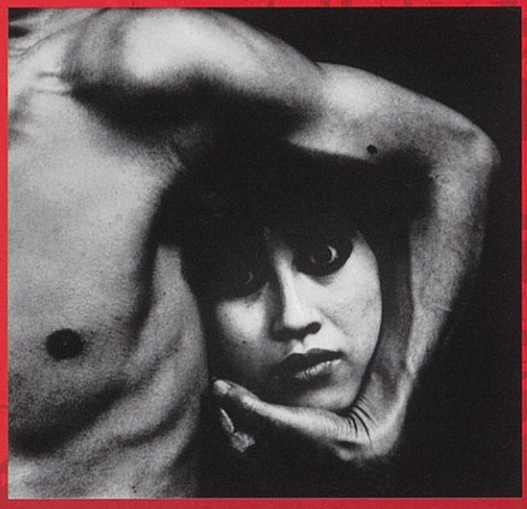
2018年3月24日(土)—5月13日(日)

東京都写真美術館 地下1階展示室

開館時間：10:00～18:00（ただし木・金は20:00まで）
＊入館は閉館の30分前まで

休 館 日：毎週月曜日（ただし 4月30日(月・振)、5月1日(火)は開館）

観 覧 料：無料　主 催：清里フォトアートミュージアム　共 催：東京都写真美術館



細江英公（日本 1933）
《おとこと女 #20》1960年
©Eikoh Hosoe

From the Collection of the Kiyosato Museum of Photographic Arts:
Beginnings, Forever

◎本展は、主催者の清里フォトアートミュージアムが、真如苑・社会貢献基金の助成を受けて開催いたします。

フランク・メドウ・サットクリフ
アルフレッド・スティーグリッツ
ジョージ・H. シーリー
ルイス・ハイン
アルヴィン・ラングドン・コバーン
エドワード・ウエストン
アンドレ・ケルテス
ベレニス・アボット
ブラッサイ
アンセル・アダムス
マヌエル・アルバレス・ブラボ
アンリ・カルティエ=ブレッソン
デイヴィッド・シーモア
ビル・ブラント
ハロルド・E. エジャートン博士
ルー・ストーメン
ユーサフ・カーシュ
ロバート・キャパ
植田正治
ロベール・ドアノー
W. ユージン・スミス
アーヴィング・ペン
三木　淳
石元泰博
ワーナー・ビショフ
長野重一
エド・ヴァン・デル・エルスケン
田沼武能
エリオット・アーウィット
ロバート・フランク
奈良原一高
東松照明
桑原史成
細江英公
白川義員
今井壽恵
ウイリアム・クライン
川田喜久治
荒木経惟
内藤正敏

前期〈歴史篇〉：2018年 3月24日～4月15日
若い情熱が時代を切り拓いた軌跡409点

高梨　豊
張　照堂
森山大道
英　伸三
横須賀功光
ブルース・デイヴィッドソン
富山治夫
ロバート・ハイネケン
立木義浩
木之下　晃
フィリップ・ジョーンズ=グリフィス
ジェリー・N. ユルズマン
トニー・レイ=ジョーンズ
篠山紀信
エメット・ゴーウィン
土田ヒロミ
藤原新也
野町和嘉
大石芳野
鬼海弘雄
北島敬三
岩合光昭
ジル・ペレス
ジョエル・スターンフェルド
瀬戸正人
三好和義
百瀬俊哉
中藤毅彦
有元伸也
本城直季
ヴィクトル・コーエン
北野　謙
亀山　亮
ムネム・ワシフ
ギジェルモ・シュロデック=ハート
ハン・スンビル
ERIC
髙木忠智
楊　哲一
ラファル・ミラフ
アダム・パンチュク
ジュリオ・ピッテンクール
ルシア・エレロ
ピョートル・ズビエルスキ
坂口真理子
G.M.B. アカシュ
ハンネ・ファン・デル・ワウデ
マリヤ・コジャノヴァ
エリザベス・ハウスト
林　典子
東京るまん℃
下薗詠子
イスマイル・フェルドゥス
セルゲイ・レベディンスキー
アル・ラプコフスキー
（撮影年順）

TOP MUSEUM

清里フォトアートミュージアム収蔵作品展

原点を、永遠に。
—2018—

清里フォトアートミュージアム（K★MoPA）は、東京都写真美術館において２度目となる「原点を、永遠に。—2018—」展を開催します。

■ 19−21世紀の“ヤング・ポートフォリオ”

本展はK★MoPAの全収蔵作品の中から、写真家が35歳までに撮影した作品を展示いたします。19世紀以降の海外の著名な写真家35人、第二次世界大戦以後の日本を代表する31人、当館が世界の35歳以下を対象におこなう公募＝ヤング・ポートフォリオから厳選した29人、計95人（各1～5点出品）409点の写真を公開いたします。
なお会期中に展示替えをおこない、同一作品を異なる順序でご覧いただきます。

前期〈歴史篇〉：3月24日～4月15日
1886-2016年の作品を撮影年代順に展示。
青年が時代を切り拓いてきた軌跡をたどります。

後期〈作家篇〉：4月17日～5月13日
作家名をほぼアルファベット順に展示。
一人ひとりの個性と写真の多様性に触れていただきます。

■ 芸術における青年期の意義を問う

芸術家は、青年期に強い意志と情熱をもって試行錯誤を重ねることにより、才能・資質が高められ、作品のクオリティが磨かれます。研鑽を積んだ作家の多くは、おのずと30代には自己のスタイルを確立し、代表作となる作品を生みだしています。青年の原点とも言うべき作品が、表現の領域を開拓し、歴史を築いてきました。そこには永遠の輝きがあります。K★MoPAは本展において、芸術における青年期の意義を問いたいと思います。
（なお本展は2018年6月国立台湾美術館にて巡回展をおこないます。また両館の相互交流を深めるため、国立台湾美術館の収蔵作品展を7月よりK★MoPAにて開催する予定です。）

関連イベント：ギャラリートーク

3月24日（土）14:00～15:00　中藤毅彦（写真家）× 柊サナカ（ミステリー作家）
3月25日（日）14:00～15:00　瀬戸正人（写真家）
4月　7日（土）14:00～15:00　川田喜久治（写真家）
4月21日（土）①14:00～15:00／②16:00～17:00　鬼海弘雄（写真家）
＊ご予約不要
トーク会場：東京都写真美術館　地下1階展示室

【関連イベント、本展に関するお問い合わせ】
清里フォトアートミュージアム TEL.0551-48-5599　info@kmopa.com

ロバート・キャパ（ハンガリー、アメリカ 1913-1954）
《連合軍による北フランス攻撃開始日（Dディ）、フランス、オマハ・ビーチ 1944年6月6日》1944年
©Robert Capa/ICP/Magnum Photos

ロベール・ドアノー（フランス 1912-1994）
《ジェジェンヌの店の花嫁》1946年
©Atelier Robert Doisneau/Contact

篠山紀信（日本 1940）
《誕生》1968年
©Kishin Shinoyama

荒木経惟（日本 1940）
《さっちん》1962-63年
©Nobuyoshi Araki

ジュリオ・ビッテンクール（ブラジル 1980）
《Ramos 13》2009年
©Julio Bittencourt

G.M.B. アカシュ（バングラデシュ 1977）
《故郷に帰りたい》2007年
©G.M.B. Akash

有元伸也（日本 1971）
《西蔵より肖像》1996年
©Shinya Arimoto

□清里フォトアートミュージアムとヤング・ポートフォリオ

K★MoPA（館長：細江英公）は、1995年、“写真と写真家のために生きる美術館”をめざして、清里に開館しました。当館の基本理念のひとつが「若い力の写真：ヤング・ポートフォリオ」です。毎年35歳までの写真を世界中から公募、第一線の写真家による選考を経て、すぐれた作品を購入し、展覧会を開催しています。過去22年間に、世界74カ国から10,157人、128,831点の応募があり、45カ国、773人、5,974点の作品を永久保存しております。こうした活動は他に類を見ないものです。（公益社団法人・日本写真協会より2004年度文化振興賞を受賞）。

K★MoPAは、若い写真家のチャレンジの場となり、彼らが切磋琢磨する生き生きとした現場でありたいと思います。戦後日本の写真家たちも、青年期に“巨匠”の作品に学び、いまや日本を代表する写真家として幅広く活躍しています。現在は、その作家が選考委員となり、後輩写真家たちに厳しくも温かいまなざしを注ぎ、成長を見守っています。若い写真家が、やがては次世代を育ててくれることでしょう。

これからもK★MoPAは、写真家の原点を永遠に伝え、写真の未来を拓き、ヤング・ポートフォリオを通じて青年をはぐくんでいきたいと願っています。

【選考委員－39人】＊ABC順／1995-2017年

荒木経惟　張 照堂（台湾）　江成常夫　英 伸三　広河隆一　細江英公（館長）　今井壽惠
石元泰博　岩合光昭　十文字美信　川田喜久治　鬼海弘雄　木之下 晃　北島敬三
クー・ボンチャン（韓国）　桑原史成　三好和義　森永 純　森山大道　本橋成一　長野重一
内藤正敏　奈良原一高　野町和嘉　大石芳野　坂田栄一郎　佐藤 明　瀬戸正人　篠山紀信
須田一政　高梨 豊　田沼武能　立木義浩　東松照明　富山治夫　土田ヒロミ　都築響一
上田義彦　横須賀功光

□作品募集！

対象：35歳以下の方。プロ、アマチュア、国籍を問わず、既発表作品も応募可。
プリント最大50枚まで。
募集期間：毎年4月15日～5月15日
ヤング・ポートフォリオ専用サイト　www.kmopa.com/yp_entry

□過去のデータベース

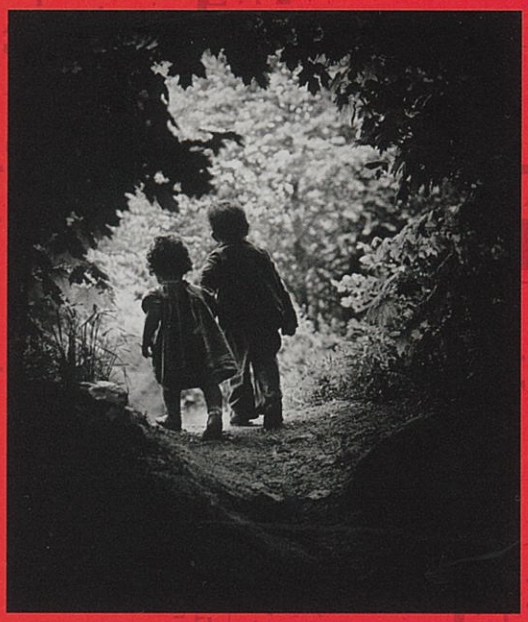
www.kmopa.com
1995年からの収蔵作品をご覧いただけます。

K★MoPA
清里フォトアートミュージアム
Kiyosato Museum of Photographic Arts

www.kmopa.com　https://www.facebook.com/kmopa　https://twitter.com/kmopa

マリヤ・コジャノヴァ（ロシア 1986）
《「無関心の表明」シリーズより　メイド》2012年
©Mariya Kozhanoza

ピョートル・ズビエルスキ（ポーランド 1987）
《無題「白い象 — パス・バイ・ミー」シリーズより》2010年
©Piotr Zbierski



W. ユージン・スミス（アメリカ 1918-1978）
《楽園への歩み》1946年
©2017 The Heirs of W. Eugene Smith/PPS

ルシア・エレロ（スペイン 1976）
《ナバロ夫妻、トレド夫妻、マルティネス夫妻（「族」シリーズ）》2009年
©Lucia Herrero

エリオット・アーウィット（アメリカ 1928）
《コロラド州　割れたガラスと少年》1955年
©Elliott Erwitt/Magnum Photos

エド・ヴァン・デル・エルスケン（オランダ 1925-1990）
《アタ・カンドと3人の子ども、パリ、セーヴル》1953年頃
Nederlands Fotomuseum/©Ed van der Elsken

ベレニス・アボット
アンセル・アダムス
G.M.B. アカシュ
マヌエル・アルバレス・ブラボ
荒木経惟
有元伸也
ワーナー・ビショフ
ジュリオ・ビッテンクール
ビル・ブラント
ブラッサイ
ロバート・キャパ
アンリ・カルティエ=ブレッソン
張　照堂
アルヴィン・ラングドン・コバーン
ブルース・デイヴィッドソン
ロベール・ドアノー
ハロルド・E. エジャートン博士
ERIC
エリオット・アーウィット
イスマイル・フェルドゥス
ロバート・フランク
藤原新也
エメット・ゴーウィン
ハン・スンピル
英　伸三
エリザベス・ハウスト
林　典子
ロバート・ハイネケン
ルシア・エレロ
ルイス・ハイン
本城直季
細江英公
今井壽恵
石元泰博
岩合光昭
フィリップ・ジョーンズ=グリフィス
亀山　亮
ユーサフ・カーシュ
川田喜久治
アンドレ・ケルテス

後期〈作家篇〉：2018年4月17日～5月13日
95人の個性が輝きを競う、
若き写真家たちの多彩な世界

鬼海弘雄
木之下　晃
北島敬三
北野　謙
ウイリアム・クライン
ヴィクトル・コーエン
マリヤ・コジャノヴァ
桑原史成
アル・ラプコフスキー
セルゲイ・レベディンスキー
三木　淳
ラファル・ミラフ
三好和義
百瀬俊哉
森山大道
長野重一
内藤正敏
中藤毅彦
奈良原一高
野町和嘉
大石芳野
アダム・パンチュク
アーヴィング・ペン
ジル・ペレス
トニー・レイ=ジョーンズ
坂口真理子
ジョージ・H. シーリー
瀬戸正人
デイヴィッド・シーモア
下薗詠子
篠山紀信
白川義員
W. ユージン・スミス
ギジェルモ・シュロデック=ハート
ジョエル・スターンフェルド
アルフレッド・スティーグリッツ
ルー・ストーメン
フランク・メドウ・サットクリフ
高木忠智
高梨　豊
田沼武能
立木義浩
東京るまん℃
東松照明
富山治夫
土田ヒロミ
植田正治
ジェリー・N. ユルズマン
エド・ヴァン・デル・エルスケン
ムネム・ワシフ
エドワード・ウエストン
ハンネ・ファン・デル・ワウデ
楊　哲一
横須賀功光
ピョートル・ズビエルスキ
（ABC順）

【本展に関するお問い合わせ】清里フォトアートミュージアム TEL.0551-48-5599 info@kmopa.com

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
TEL.03-3280-0099 www.topmuseum.jp

JR恵比寿駅より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
当館には専用の駐車場はございません。お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。